

事業者向け 放課後等デイサービス 自己評価結果表

事業所名 (特非)発達支援ネットワークつむぎ つむぎ大和

		チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	工夫している点 改善目標	それを踏まえた対応
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	2	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・10人以上だとせまい。 ・利用している人数により、自由遊びのスペースが狭くなってしまう日もあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は先生とのお勉強エリア、一人でのお勉強エリア、自由遊びエリア、宿題エリアがあります。定期的な再構造化を行い、自由遊びのスペースや過ごし方について検討しています。
	2	職員の配置数は適切である	2	2		<ul style="list-style-type: none"> ・正規職員が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の体制は指定基準を満たしております。保育士、児童指導員等の資格を有したものが支援を実施しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	1			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	3	1			<ul style="list-style-type: none"> ・PDCAサイクルについては事業計画の中でも重要性を確認し、共有しています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	1			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	1			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4				

	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4			
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	3	1		<ul style="list-style-type: none"> 根拠のある専門的な支援を大切にしております。また、保護者の思い、利用者様の特性、興味関心を活かした放課後等デイサービス計画を作成しております。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	1		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	1	3		<ul style="list-style-type: none"> 大きな活動の流れは決まっておりますが、集団活動の在り方などをチームで検討していきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	2	2		<ul style="list-style-type: none"> 活動の内容を新たに増やすことや取り組み順を変えるなど、工夫を行っております。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	2	2		<ul style="list-style-type: none"> 長期休暇にはおやつや集団活動など、状況に応じて支援内容を変更しております。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	3	1		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	1		

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	1			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	1			
	18	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3	1		・定期的なモニタリングを通して、利用者様の成長を共有しております。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っている	3	1			
関係機 関や保 護	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	1			
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	3	1			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				・利用児がいない。	・現状利用者はありません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	1			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	1		・移行支援会議に参加し、情報提供しました。	

者との連携	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	1			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		2	2		・地域との交流、活動の機会としてこども食堂に参画しております。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	2		・上司が行っている。	・自立支援協議会教育保育部会に参画し、はぐくみファイルを書く会の運営など、積極的な参加を行っております。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4			・エリアごとの担当が口頭やメモで伝えるなどして職員間で情報を共有し、保護者の方に伝えている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	1			
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	1			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	1		・参加者が少ない。	・定期的な保護者が参加できる座談会や講演会を開催しております。

保護者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3	1			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	1			・毎週、つむぎ通信やつむぎフェイスブック記事を発行し、様々な情報提供を行っております。
	35	個人情報に十分注意している	4				
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3	1			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関われた事業運営を図っている	1	3			
非常時の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4			・保護者に伝わっているか不明。	・保護者へは契約時にお伝えしております。また、職員についても職員会議などで定期的にマニュアルを共有しております。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4				
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	1			

	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4			<ul style="list-style-type: none"> 指示書なし。 	<ul style="list-style-type: none"> アレルギーの確認表を作成し、提供なしとしております。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4				

(特非) 発達支援ネットワークつむぎH30. 9.1～

|